

TV 報道検証【報道特集】 報告書

テレビ局：TBS	番組名：報道特集	放送日：2019年6月15日
出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、宇内梨沙		
<p>検証テーマ：ホルムズ海峡でのタンカー攻撃、オープニング、香港の逃亡犯条例改正案                  ダブル選挙、G20 のエネルギー環境大臣会合、日米 EU が水素分野で協力を合意                  【特集】同日選見送りと与野党の思惑</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホルムズ海峡でのタンカー攻撃</li> <li>・オープニング</li> <li>・香港の逃亡犯条例改正案</li> <li>・明日にかけて大雨防風に警戒</li> <li>・ダブル選挙</li> <li>・G20 のエネルギー環境大臣会合</li> <li>・日米 EU が水素分野で協力を合意</li> <li>・特殊詐欺事件対応の警察官が現金詐取の疑い</li> <li>・東松山で女性殺害事件</li> <li>・東京都の引きこもり相談会の参加者高齢化</li> <li>・伊豆大島の行者祭</li> <li>・【特集】同日選見送りと与野党の思惑</li> <li>・【特集】終活の行方～豊かな生と死とは</li> <li>・スポーツ報道</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホルムズ海峡でのタンカー攻撃：結論→特に問題なし                  ホルムズ海峡でのタンカー攻撃について以下に朱記したように取り上げられていた。                  "音声「魚雷による攻撃と見られます、魚雷攻撃です。」                  ナレ「攻撃を受けたタンカーの救助にあたった貨物船の船長の当時の音声です。イギリス、レイリーミラー紙が入手した音声で魚雷による攻撃を受けたとされたタンカーは沈下したものの今も現場付近にあります。中東のホルムズ海峡付近で起きた二隻のタンカーへの攻撃を巡ってアメリカとイランの対立は一層緊迫化しています。」"                  "ナレ「アメリカのトランプ大統領は14日、アメリカフォックス・ニュースの番組に電話で出演し、タンカー攻撃についてイランがやったと断言。」                  トランプ大統領（音声）「彼らはテロ国家だ私が大統領に就任して以降、変化した。」                  ナレ「トランプ氏はイランをテロ国家と強く非難しました。そしてアメリカ軍が公開したイラン革命防衛隊がタンカーの船体から不発の爆発物を取り除く様子だとする映像について証拠を残したくなかったのだろうとしてイランが攻撃に関与したとの認識を示しました。」                  シャナハン国防長官代行「中東で起きていることはアメリカの問題ではなく国際的な問題だ。」                  ナレ「シャナハン国防長官代行はイランに対する国際社会の連携を強化していきたいという考えを示した上で、 </li> </ul>		

今後も積極的にタンカー攻撃に関連する機密情報を公開すると述べました。」 "

ナレ「一方、イランのロウハニ大統領は 14 日、中国とロシアが主導する国際会議で演説しました。タンカー攻撃についての言及はなかったもののアメリカ政府は優位な立場を利用して世界や地域の安定を脅かしていると強く非難しました。一体何者が攻撃を行ったのか真相が解明されない中、アメリカとイランの応酬はエスカレートする懸念があります。

このトピックについて当てられた時間は 133 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ オープニング：結論→特に問題なし

金平キャスターが番組冒頭で「老後の暮らしに年金以外に 2000 万円が、2000 万円の蓄えが必要だとした金融庁の審議会の報告書の受け取りを麻生財務大臣が拒否しました、なんと幼稚な対応でしょうか、せめて審議会の議事録は永久保存していただきたいと思います、この国では知らない間に公文書が破棄されてきたいきさつがありますから。」とコメントしていた。このコメントに当てられた時間は 22 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ 香港の逃亡犯条例改正案：結論→特に問題なし

香港の逃亡犯条例改正案とそれへの反発のデモについて以下に朱記したように取り上げられていた。

"奥野宏輝（報告）「明日も大規模なデモが予定されている中、香港のトップ、行政長官が会見に臨みます。」

ナレ「日本時間の今日五時過ぎ、香港政府のトップ林鄭月娥行政長官は会見で逃亡犯条例の改正案について今後の審議を延期すると発表しました。」

林鄭月娥行政長官「立法会は条例の改正審議についてしばらく停止します。期限は設けません。」

ナレ「改正案は刑事事件の容疑者を中国本土に引き渡すことを可能にする内容で民主派や市民は中国に批判的な活動からの引き渡しを求められるとして反対してきました。今月 9 日に行われた抗議デモには主催者発表で 103 万人が参加しました。12 日には審議を止めるため数万人が立法会周辺を選挙、警官隊と衝突し 70 人以上が怪我をしました、立法会はこれ以降、3 日連続で審議を見送り香港政府が目指していた 20 日の採決は厳しい状況となっていました。香港政府は市民に対する説明不足を理由に延期を決定したものの期間については名言をしておらず、改正案についての完全撤回を求めている市民からは今後も反発が予想されます。一方香港メディアは中国最高指導部内で香港政策を担当する韓正副首相と林鄭氏が今回の決定の前に協議したと報じていて、今月末の G20 大阪サミットを前に香港政府としては事態の早期沈静化を測る狙いがあるものと見られます。」 "

このトピックについて当てられた時間は 133 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ ダブル選挙

膳場貴子「参議院選挙に合わせて衆議院を解散するかどうかの安倍総理の判断に絡んで中も注目される今の国会の会期中ですが自民党の森山国会対策委員長は延長はないとの見通しを示しました。」

森山裕（自民党国会対策委員長）「おそらく国会は延長はないのかな、と思っていますが、まだ確定的なことを申し上げる時期ではありませんですけれども。」

ナレ「会期が延長されず衆院解散がなければ夏の参院選は来月 4 日公示、21 日投開票の方向です。複数の与党幹部は内閣支持率は底堅いことから衆参同日選の可能性は低いとの見方を示しています

二階俊博（自民党幹事長）「この選挙戦、勝利、大勝利できるかと、勝つことは決まっています。」

ナレ「一方、鹿児島での会合に出席した二階幹事長は参院選圧勝に向け奮起を促しましたが、衆院選についての

言及はありませんでした。」

このトピックについて当てられた時間は 68 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ G20 のエネルギー環境大臣会合：結論→特に問題なし

G20 のエネルギー環境大臣会合について以下に朱記したように取り上げられていた。

"原田義昭（環境相、音声は英語、日本語はテロップ）「最も重要なことはプラスチックごみの海への流出をどのように抑えるかです。」

ナレ「G20 としてははじめてのエネルギー環境大臣会合が今日から長野県の軽井沢町で始まりました。大きなテーマの一つは世界定期に問題になっている海洋プラスチックごみの問題です。漁に使う編みが足に絡まって溺死した海鳥、こちらは身動きが取れなくなった亀。近年こうしたプラスチックによる海洋汚染の影響が世界中で深刻化していて環境保全部体の WWF は廃プラスチックを大幅に削減するよう日本政府に提唱し、G20 にも検討を求めています。ペットボトルなどわたしたちが日々使っている使い捨てのプラスチック製品も海に流れ出すと深刻なゴミになります。対策の一つとして、日本が今回の会合でアピールしたのはこちらの紙コップですなぜこの紙コップがプラスチックゴミ削減につながるのか、開発した企業取材しました。」

"粕谷一郎さん（三菱ケミカル）「実はこの紙コップの中にはポリエチレンがコーティングされているんですね、一般的には、それが生分解性の我々プラスチックをコーティングすることによって、このまま土の中に埋めても全部が自然に分解しますよ、と。」

ナレ「コップにコーティングされているのはトウモロコシなどから作られた生分解性プラスチック、もし道端や海に捨てられても微生物の力で水と二酸化炭素に分解され、水と二酸化炭素に分解され数ヶ月後にはなくなります。コップだけではなくストローやレジ袋などの開発も進められていますが、担当者は技術だけでは問題は解決しないと強調します。」

粕谷一郎さん「どうしても、分解しますよということばかり宣伝しますとね、ポイ捨てしていいんですかというようなポイ捨て助長にもなってしまいます、そういうことではないと思いますし、トータルでゴミ問題を考えていくというのは政府とか自治体も含めて、まあ後は各国の規制とかもですね、そういうものも含めて考えていかなければいけない。」

ナレ「また、今日の会合では施行経済産業大臣が日本国内でのレジ袋の有料化を東京オリンピックパラリンピックに間に合うよう来年 4 月 1 日から実施する方針を表明しました。身の回りにあふれるプラスチック製品、技術革新も含めてわたしたち一人ひとりが意識を変えること、それが問題解決の糸口になるはずです」

このトピックについて当てられた時間は 197 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ 日米 EU が水素分野で協力を合意：結論→特に問題なし

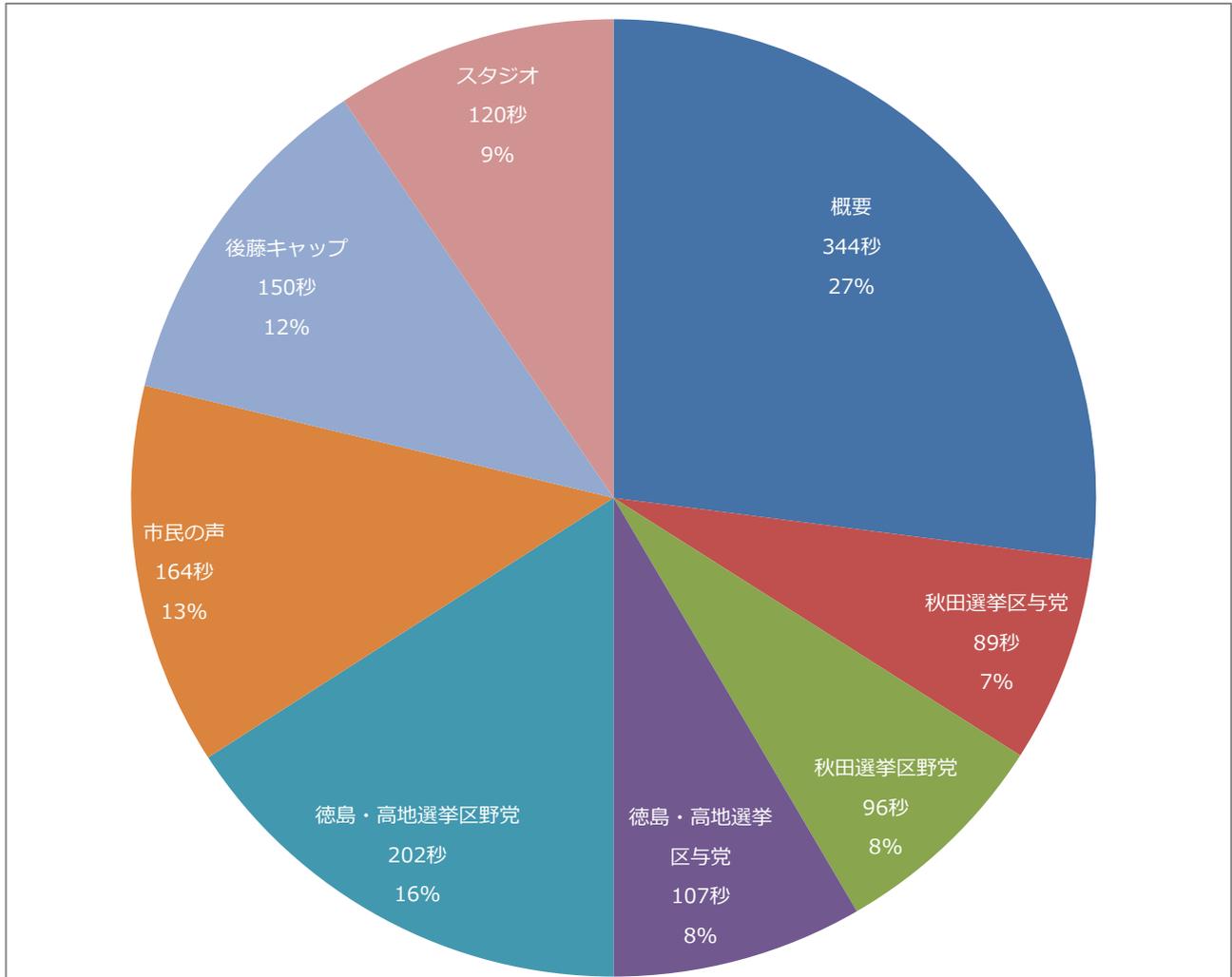
日本、アメリカ、EU が水素の利用拡大に向けて連携を強化していくことで合意したことについて取り上げられ、ナレーションで「水素はエネルギー源として使っても二酸化炭素を排出しないため、温暖化対策の切り札として期待されています。G20 エネルギー環境大臣会合で世耕経済産業大臣はアメリカと EU と会談を行い、水素の利用拡大に向け連携を強化していくことで合意しました。具体的には水素の輸送や貯蔵の方法に関する規制の調整や共同研究等協力を加速させていくということです。中国や韓国などを始め世界的に競争が激化している水素の分野で技術面などでの協力を図り脱炭素化社会の実現を手動していきたい考えです。」と伝えられていた。

このトピックについて当てられた時間は 53 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【特集】 同日選見送りと与野党の思惑：結論→継続的な検証が必要

参議院選挙にむけての与党陣営と野党陣営について取り上げられていた。

今の所の永田町の動きや争点などを取り上げた概要の部分、秋田選挙区と徳島・高地選挙区での与野党陣営それぞれの動きを取り上げた部分、解散風について後藤キャップが解説するシーン、VTR を受けてのスタジオでのやり取りに大別された。このトピックについて当てられた時間は 1272 秒で、それぞれの場面への時間配分及び比率は以下の通りであった。



VTR では間に CM を挟んで、以下に朱記したように取り上げられていた。

ナレ「今週、政府与党は、老後に 2000 万円が必要とする金融庁の報告書をめぐり、火消しに追われた。」

麻生太郎大臣「正式な報告書としては、受け取らないと」

二階俊博自民党幹事長「我々は、選挙を控えとるわけですからね、そうした方々に迷惑を及ぼすことを無いようにね、党としては、しっかり注意していかなくやいかんと」

"自民党森山裕国対委員長「報告書はありませんので、」

「審議の対象にならないと思います。ないわけですから」"

"ナレ「ある与党幹部はこう話す。」

与党幹部「『老後 2000 万問題』や防衛相の居眠りが出てきて、解散をしていたら、アウトだ」"

ナレ「昨日の、衆議院財務金融委員会では、」

自民党越智隆雄衆院議員「正式なものとしては受け取らないというのは、どういう判断だったんですか。」

麻生大臣「世の中としては、わーっと火が付いた形となって、沈静して、という方向とは、違う方向に火が広まっているように思いますんで、これは、このままでほっといて、またさらに、話がなりかねんという感じがしておりますので、」

立憲民主党会派大串博志衆院議員「選挙やばいと思って焦って、火消しに走って、前代未聞の逃げ工作をやっている。隠ぺい工作をやっているそういうことじゃないですか。」

麻生大臣「選挙向けのパフォーマンスというご指摘をなさりたいようにお見受けしましたけれども、私どもとしては、そんなつもりは全くございません。」

ナレ「野党側は、この問題を参院選の争点にしたい構えだ。野党 5 党派は、参院選に向け、全国 32 の 1 人区全てで、候補者を一本化する共闘体制を固めた。参院選で勝敗のカギを握る 1 人区。現状はどうか。」

#### 【CM】

ナレ「参院選秋田選挙区。自民党の現職、中泉松司氏と、無所属で新人のてらだしづか氏が一つの議席を争う見通しだ。」

ナレ「野党 5 党派は、共同で寺田氏の支援を決定。」

ナレ「自民党は、激戦区に指定し、二階幹事長が、先月、秋田入りした。」

ナレ「米の生産量、全国第三位の秋田県。農業が主力産業だが、大きな課題は人口の減少だ。」

"農家女性「跡継ぎがね、跡継ぎがうちいないから。」

農家男性「昔だと、一俵 2 万円くらいの時あったのよ。まずな、うちの親父の時はな、それでまだ飯は食べたけど、今はもうね、大型化してやっているけど、そういうのをまずやるのは、若い人になるのな、やってくるのは。」

"

ナレ「秋田県の人口減少率は、6 年連続全国 1 位で、高齢者の割合が、最も高い。」

ナレ「自民現職の中泉氏は、秋田市出身の 40 歳。実家は農家で、県議会議員を経て、6 年前初当選した。」

中泉氏「一番の課題、大きいものとしては、人口減少社会にどう向き合っていくかということが、挙げられるんだろうと思います。私は農家です。秋田県でしっかりとプライドを持って、お米を作っているような環境を、これからも大切にしていかなければいけませんし、農林水産業共に、振興を図っていかなければいけません。」

てらだ氏「いまさお話からちょっと音下げて、」

ナレ「一方の無所属新人寺田氏は、秋田県横手市出身の 44 歳。夫は現職の衆院議員だ。共産党が候補予定者を取り下げ、野党共闘が実現した。」

寺田氏「秋田県が一番の課題である、この人口減少、あると思います。人口減少がさまざまな問題の端緒となっていること、国は対策を打ってほしい。このようなことを秋田からでている人間が真摯に訴えていかなければ、秋田はつぶれてしまいます。手遅れになってしまうと、私は思います。」

ナレ「さらにこの選挙区には、今注目されている問題がある。」

金平「距離にして 2 キロ余り、えー車で 10 分くらいのところなんですけど、秋田駐屯地新屋演習場です。えーイーゼス・アショアがですね、設置されれば、こちら側にレーダー基地があつてですね、海側の方に、垂直の発射装置が、敷設されることになります。えーこのイーゼスアショアの敷設問題というのがですね、今度の参議院選挙でどのような争点になるのかが、非常に注目されます。」

ナレ「おとし、導入が決まった弾道ミサイルイーゼスアショア。秋田市にある陸上自衛隊新屋演習場は、配備候補地になっている。」

新屋勝平地区振興会佐々木政志会長「なぜこの我々が、なのということが、一つのまあ、この言葉が今もお現在使わざるを得ない言葉なんです。」

ナレ「新屋勝平地区の住民組織をまとめる佐々木政志さん。演習場周辺の 16 の町内会で構成される住民組織は、配備に反対の声を上げている。」

"佐々木さん「まっすぐだとすると、400メートルあるのかな。そんなに遠くないですよ。」

金平「1キロもないぐらいですか。」

佐々木さん「そうですよ」

金平「近いですよ、結構。ねえ」

佐々木さん「商業高校が一番近いんだけど、次中学校、それからこちら」

ナレ「演習場のすぐそばには、住宅街が広がり、小学校、中学校、高校が隣接している。先週、新たな、問題も明らかになった。」

住民「我々は、これが信用できないんですよ。これがあなたたちの調査結果を、信用できない。」

ナレ「防衛省が、配備候補地を調べた報告書で、新屋以外は配備に適さないとする根拠のデータに誤りがあったのだ。防衛相は結論に影響はないとしているが、真意は・・・」

女性住民「ちょっと嫌ですよ、子どもたちもいるし何かあった時にこっちに向かって攻撃されたりしたら、嫌かなとは思います。」

男性「どっちでもないですね。来ないならそれでいいんですけど、国の方で必要だとなると、それもなんかちょっとでも、難しいですね。」

女性「私反対です。家めっちゃ近いんですよ。嫌ですね、大丈夫なんですかね。ちょっと信用できない。」

男性「電波による健康被害とかいうことをはっきりさえすれば、可能なのではないかなあ。反対じゃない。秋田にとってのメリットは絶対ある。んだ」

ナレ「出馬する二人は、」

"寺田氏「大前提として、住宅地の中、もう数百メートルで住宅とか、学校、あと、福祉施設があるというところに、配備することは絶対にできない。」

「これから何十年も、そこで、あの、暮らしていく子供たちの立場に立ってきちんと考えなければいけないと思っていますし、そのことをきちんと訴えていきたいと、思っています。」

中泉氏「どちらかという、賛成の立場で、いろいろなお話をさせていただいています。前提となる調査に誤りがあったということは、これはあってはならないということですから、地元の行政や、皆様方のご意見を踏まえて、指摘すべきは、指摘していきたいなというふうに思っています。」

ナレ「双方の陣営に聞いた。」

自民党加藤鉦一県議会議員「自民党の候補にとっては、プラスにはならない。それは、国を守るという視点からすれば、大変悪いことではないんですけど、こんなに住宅近いのに、というそういう反発も当然あるわけでして、今回激戦区になったというのも、そういうことを加味されているというふうに私どもも思っております。」

社民党石田寛県議会議員「今回は、まず新屋の演習場には、まず配備させないという考え方では一致しています。このままいったら、秋田も、高江や辺野古と同じような状況になりますよ。それでも争点にならないの？」

ナレ「全国、32ある一人区で固まった野党共闘だが、寄り合い所帯の中、どう力を結集させるかという課題を抱えている。一人区で、自民党候補対、野党統一候補の一騎打ちとなる見通しの徳島・高知選挙区。」

"男性「はい・ありがとうございます。ごめん。仕事中に。ありがとう、ありがとう。」

ナレ「自民党から立候補を予定するのは、現職の高野光二郎氏。」

高野氏「わたくしの政治理念は、即行動の突破力です。あきらめません。」

ナレ「対する野党陣営は、無所属新人の松本顕治氏。」

松本氏「どうかあなたの願い、あなたの声、あなたの力を野党の勢力の前進に力を貸していただきたい」

ナレ「当初、立憲民主党や、国民民主党は、独自の候補を模索していたが、共産党公認の松本氏を野党統一候補とすることで、合意した。」

ナレ「そして、共産党は先週、松本氏が無所属で、出馬することを発表した。」

松本氏「市民の皆さんどとか、あと他党の皆さんから、やっぱり、無所属で本気の統一でやってほしいということも、まあずっと言われても来ていました。」

ナレ「野党は」

日本共産党 徳島県委員会 上村秀明委員長「それぞれの党が、日本共産党の党員の無所属候補を推して、そして共闘するという事は、初めての経験。なんですよ。我々も初めてですけども、他の党派も初めてで、どういうスタンス、どういう支援の仕方、どういう形で、自分たちが動けばいいのか。そういうことについて、まだ模索しているという側面が、強いんですね。」

ナレ「この日の演説会では、野党各党の県連代表らを招待し、共闘をアピールする予定だったが、立憲民主党、国民民主党は欠席。野党各党の打倒安倍政権のメッセージが代読されたが、松本市個人について、触れられることは無かった。」

ナレ「立憲民主党や国民民主党を支持している連合の地元関係者は、支援体制について、」

連合地元関係者（吹替）「組織内で検討中の為、具体的には、決まっていない。」

ナレ「松本陣営は、野党共同を歌い、ポスターや宣伝カーから、日本共産党の文字を失くした。」

"ナレ「主に訴えるのは、生活の安定だ。」

松本氏「年金の水準も維持できない。それだけではなく、社会保障の改悪もやってきた。そういう政府が今、社会保障の財源がないといって、消費税を上げようとしている。」"

ナレ「対する、自民党の高野光二郎氏は、農林水産政務官を務める現職の参議院議員だ。元、衆議院議長、河野洋平氏の秘書を務めた経験があり、息子の河野太郎外務大臣も応援に駆け付けた。」

"ナレ「高野氏が争点と考えるのが、政権の安定だ。」

高野氏「参議院がねじれたら、必要な法律だとか、予算とかがやっぱり、滞るので、そういう意味では、政権の安定が、我々、私にとっては、PR のしどころ。だと思いますね。」"

"ナレ「支持固めに余念がない。」

男性「頑張ってください。」

高野氏「はい、末永くお願いします。」

男性「頑張れな」

高野氏「はいありがとうございます。」"

女性「やっぱり高知県っていうのは、昔からあの、古いあれがね、保守的なところがうんとあるから、」

ナレ「さらに、地元が直面する、この問題を強調している。」

高野氏「必ず来るであろう、南海トラフ巨大地震対策。何もしなければ、高知県民だけで、4万9000人の方が亡くなるんですよ。公共事業をやらなければ、人の命が守れないんです。」

ナレ「陣営は野党候補の一本化を受け、引き締めを図っている。」

自民党高知県連 梶原大介幹事長「自民党勝つでしょうとそういう優勢に立っているという認識は全く持っていないというのが、あの現状であります。前回、前回の得票率ですよ、投票された方の、自民党の候補、そしてあの野党の方の候補、得票率という面では、大変そんなに差があるわけではありませぬので、危機感というものには本当に持っているというところでございます。」

ナレ「今回の参院選を巡っては、安倍総理が衆院を解散して、衆参同日選に踏み切るのではないかと、という憶測が飛び交ってきた。総理自身も、」

安倍首相「風というもの、気まぐれで、誰かがコントロールできるようなものではない。」

ナレ「先週まで吹き続けた解散風だが、今週になって同日選が見送られる公算が大きくなっている。なぜか」

TBS 政治部 後藤俊広官邸キャップ「会期の延長がなくなったということで、解散の可能性も、えーこれかなり低まってきたのかな。えー国会の6月の26日でこれ、会期末、これ閉幕する予定なんですけど、その直後に大阪でG20サミットがあります。日本は今回議長国です。そういった中で解散というある種の政治的な空白な状況を作ったまま、国際会議に臨むというのは、まあ本来であれば、ありえない状況なんですね。」

ナレ「さらに、大きく影響しているのが、老後に2000万円必要という金融庁の報告書だ。」

"後藤キャップ「2000万円の問題ってのが、出てきたことから、状況は大きく変わったといえますね。」

「解散というようなことを打てるタイミングではなくなった。あるいは、状況ではなくなった。安倍政権というのは、12年前もですね、年金でまあ、失敗した、参院選に失敗して、それがまあ、退陣のきっかけになりましたけれど、そういったことから今回も、おそらく国会の場での野党との、論議ってのも、まあ極力、政府、与党側が、避けたいというような動きは出てくると思うんです。まあこういった中で、参院選だけではなくて、衆院選でも、えー年金あるいはこの、老後資金について、議論を戦わすというのは、なかなか選挙は戦いづらい、そういうふうな思惑が働くであろうとは言えます。」"

ナレ「来週水曜日には、実に1年ぶりとなる党首討論が予定されている。」

後藤キャップ「これからの焦点というのは、この問題が発生したわけですから、それに対してどう政府側が、速やかな対応をしていくのか、それが今政府の方にそのボールが投げられていると思うんですね。この問題ってのは、これ国民的な大きな関心事です。それに対して、政府がどう取り組む、あるいは、将来どういうふうにやっていくんだということをしっかりと、率直に政府の方から訴えていく、そういう機会が無ければ、参院選の投票判断もこの有権者の人たちもできないと思うんです。」

後藤キャップ「国会の場で、正々堂々と議論する、これがもう、政治の果たす役割あるいは、義務だと思うんですね。」

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返し繰り返された。

膳場「えー参院選は同日選じゃなければ、来月にも投開票とみられていて、まあ日程が迫っているわけですが、その割に争点や、政策の大テーマが煮詰まっているのかと。思いますよね。まあ与党は様々な問題が、起きるたびに巧みに火消しをしますし、野党は追及しきれず議論が深まっていけないと。選挙への熱ってのが、まだ高くないような印象がするんですが、どうでしょう、金平さん実際に秋田に取材に行ってみてどうでしたか。」

金平「あの秋田なんでね、やっぱり農業問題とか、地域の活性化とか、最大の焦点になんたろうな一つというふうに予想しながら行ったんですよ。ところが、そのイージスアショアの問題ってのがその想像以上にですね、この大きな争点になってましたですね。あの一つは選定場所を決めるにあたっての、防衛省の調査報告書がとて、深刻なミスが見つかったってことを地元新聞がスクープしたんですね。これすごく大きな問題になっていて、さらには、防衛省の住民説明会でですね、防衛相の職員が居眠りしてたっていうんで、怒りを買ってですね、なんか秋田県民全体が、我々はなめられているんじゃないかみたいな、非常に強い怒りみたいなものですね、取材していて伝わってきましたですね。」

日下部「あの、秋田も高知もですね、中選挙区時代、私、政治部記者として取材に行ったんだけど、革新系のね、社会党とか共産党が、そこそこ強かったところで、今見ていて、野党っていうのは、まだ、こういった古くからある組織に頼らざるを得ないのかなあっていう思いもしたんですけど、まあ野党統一候補といっても、

永田町では小さな野党がですね、離合集散を繰り返しているわけでね、やっぱりこれじゃあ地方の組織とか、候補者とか育っていかないなあという思いがしましたね。」

膳場「来週水曜日には、およそ1年ぶりの党首討論が開催されます。今国会では、3月以降、予算委員会が開かれていませんので、きちんとした議論を期待したいです。」

今回は秋田選挙区と徳島・高地選挙区を取り上げたこともあって、与党 vs 野党共闘という構図で維新の会には触れられていなかった。取り上げる選挙区によって取り上げられる政党も変わってくる、今回のような地方・田舎の選挙区では与党 vs 野党共闘の構図になっているが、大阪ではこの与党と野党共闘が自民党から共産党まで手を携えて対維新で選挙を戦っている。どの選挙区を取り上げるかによって対立の構図も異なってくる。一回一回の報道では偏りの有無することはできないが、何回かの報道で取り上げられる中で、取り上げられ方に一定の偏りがあるようであれば、それは放送法第四条一向二号の「政治的に公平であること」や同四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」に抵触する可能性が出てくると考える。そのため、選挙まで放送日は何回かあるので、残りの放送でどこにスポットを当てるかは放送法の見地からも注目に値すると言えるだろう。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・【特集】 同日選見送りと与野党の思惑：結論→問題あり

スタジオでは金平キャスターが「あの秋田なんでね、やっぱり農業問題とか、地域の活性化とか、最大の焦点になんだろうなーっていうふうに予想しながら行ったんですよ。ところが、そのイージスアショアの問題ってのがその想像以上にですね、この大きな争点になってましたですね。あの一つは選定場所を決めるにあたっての、防衛省の調査報告書がととも、深刻なミスが見つかったってことを地元新聞がスクープしたんですね。これすごく大きな問題になっていて、さらには、防衛省の住民説明会でですね、防衛相の職員が居眠りしてたっていうんで、怒りを買ってですね、なんか秋田県民全体が、我々はなめられているんじゃないかみたいな、非常に強い怒りみたいなものですね、取材していて伝わってきましたですね。」とコメントしていた。しかし、実際の特集のVTRではイージスアショア配備候補地である自衛隊の新屋演習場の近隣住民の声ばかりが取り上げられていた。確かに新屋演習場ではイージスアショアの問題は大きな問題だろうが、秋田選挙区内でも山形県境寄りや青森県境寄りの地域ではどう受け止められていたのだろうか、取り上げられていないのでわからなかった。

いずれにせよ、イージスアショアの配備地の声のみを取り上げて、それがいかにも秋田県全县の声であるかのように伝えるのは視聴者に対して誤解を招きかねない報じ方であり、印象操作の疑いがあると言わざるを得ない。

検証者所感

・G20のエネルギー環境大臣会合

原田環境大臣が英語でスピーチをする場面が取り上げられていた。外務大臣や総理大臣、財務大臣でもない日本の政治家が英語でスピーチをする場面が取り上げられる場面というのは珍しいのではなかろうか。